

然かすと。

風神廟

二十一日行程約十二里、三個泉サンコチヨウに泊す。一風神廟あり。蓋し此地氣候溫和、雨雪少きも、強風多く、特に三四月の交を以て甚しとす。土地肥沃水亦餘り有るも、風の爲めに耕すを得ずと。風神廟の存するもの蓋し故なしとせず。

翌二十二日は日より行進方向北を指し、白楊村バイヤン即ち吐魯番廳、迪化府ダイホフの交界線を經て、行程約十里、河溝ホコウに投ず。河溝は山間の孤驛にして、僅に粗造なる一客棧あるのみ、然れども前には溪流ありて久しく耳にせざりし潺湲の聲を聞き、河岸には楊柳の茂生する有りて幽邃の情掬すべし。

夢破鳴山嶽 夜來風雨饒

窓前殘月影 溪上誤春潮

此地四季共に風多きも、二、三、四月は西風、六、七、八、九月は東風吹き、而して西風は強く東風は微なりと。西南別に白楊、小草湖シヤオソテオフを過ぎて、托克遜トクソンに到るの一路あり、是日途上吐魯番の纏頭數多の驢馬に麵粉を馱して歸るに逢ふ。聞く彼等は省城烏魯木齊に行きし者にて其の行くや葡萄を馱し還るや必ず麵粉を運ふと。蓋し麵

葡萄を賣
りて麵粉
を買ふ